



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_2000

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 15:12

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

5.0/10

顕著な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日衆院選後、LDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席。過半数割れにより少数与党政権として運営。高市早苗が首相（本分析対象放送時点）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、れいわ新選組（Reiwa、9議席）、日本共産党（JCP、8議席）。

政党	左右スコア (0-10)	議席数 (衆院)	政府・野党	主要政策
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、米日安保廃棄
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、護憲
れいわ新選組 (Reiwa)	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、MMT経済
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	護憲、脱原発、夫婦別姓
公明党 (Komeito)	5.0	24	与党	平和外交、社会保障、LDP抑制
国民民主党 (DPP)	5.5	28	中間	消費税5%、実用的原発活用
自由民主党 (LDP)	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費増額、原発再稼働
日本維新の会	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

(Ishin)				
参政党 (Sanseito)	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

Pew閾値：4.5未満＝左派、4.5～5.5＝中道、5.5超＝右派

日本の現在の主要対立軸は以下の通りである。第一に、防衛費増額・反撃能力保有をめぐる与野党対立（LDP推進対 CDP・JCP反対）。第二に、憲法9条改正問題（LDP・Ishin推進対 CDP・JCP・SDP反対）。第三に、エネルギー政策における原発再稼働推進（LDP・Ishin）対脱原発（CDP・JCP・Reiwa）の対立。第四に、中東情勢・南シナ海問題を背景とした安全保障政策の方向性をめぐる議論が活発化している。

NHKは放送法第4条に基づき、政治的公平・報道の正確性・多角的論点提示が義務付けられている。NHKの経営委員会委員12名は首相が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政府寄り」との批判が継続している。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）であり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいる。

- ・ タイトル：NHKニュース（午後8時）
- ・ 日付（ファイル名より推定）：2025年（具体的日付はタイムスタンプから推定、中東情勢・バリカタン演習報道時期）
- ・ 推定放送時間：約5分（トランスクリプト範囲：00:00:00～04:55:480、ただし後半は字幕ループ異常あり）
- ・ 司会者・記者：不明（トランスクリプトに明示なし）
- ・ 登場人物：

人物	役職	政党・所属	政治的スペクトル
高市早苗	内閣総理大臣	自由民主党（LDP）	右派（LDP内強硬保守派）
記者団（複数）	取材記者	NHK・各社	中立（報道機関）

中東情勢を受けた補正予算編成の必要性に関する高市首相の見解表明、および日米比合同軍事演習（バリカタン）への自衛隊初本格参加という二つの安全保障・財政政策事項を報道している。

中東情勢（イスラエル・ガザ紛争の継続、イランとの緊張）は日本のエネルギー輸入・経済に直接影響を与えうる。補正予算編成の是非は財政政策の根幹に関わり、野党は積極的な財政出動を求める立場が多い。南シナ海における中国の海洋進出を背景に、日米比三カ国の安全保障協力が強化されており、自衛隊のバリカタン演習初本格参加は日本の安全保障政策の転換点を示す。これらは憲法9条・防衛費増額・外交政策をめぐる国内政治対立と直結する重要事項である。

以下の視点が均衡ある報道には必要である：

- 【A】 補正予算不要論の根拠（予備費活用の具体的規模・条件）
- 【B】 補正予算必要論（野党・経済専門家の見解）
- 【C】 中東情勢が日本経済に与える具体的影響の数値的説明
- 【D】 刑事訴訟法改正案の内容・背景・与野党の立場
- 【E】 バリカタン演習への自衛隊参加の法的根拠・憲法上の問題
- 【F】 南シナ海情勢における中国・フィリピン・米国の立場

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

【G】 自衛隊海外派遣に対する野党・市民社会の批判的見解

【H】 実弾射撃訓練の具体的内容・規模・目的

【I】 日本の安全保障政策転換に対する近隣諸国（中国・韓国）の反応

【J】 予備費活用の民主主義的問題点（国会審議回避の懸念）

【A】 補正予算不要論：取り扱いあり

タイムスタンプ：00:00:38 — 引用：「今年度予算の予備費も活用できるので政府として今日の時点で補正予算案の編成がすぐさま必要な状況とは考えていない」 — 評価：首相の立場のみ提示、根拠の詳細説明なし。

【B】 補正予算必要論：省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：野党・経済専門家の反論が一切提示されていない。

【C】 中東情勢の経済的影響（数値）：省略

タイムスタンプ：00:00:52 — 引用：「中東情勢が経済に与える影響を注視しながら」 — 評価：「注視」という抽象的表現のみで具体的数値・分析なし。

【D】 刑事訴訟法改正案の内容：省略

タイムスタンプ：00:01:08 — 引用：「最新裁判のやり直しの制度を見直すための刑事訴訟法改正案」 — 評価：内容・背景・野党の立場が全く説明されていない。

【E】 自衛隊参加の法的根拠：省略

タイムスタンプ：00:01:27以降 — 引用：なし — 評価：憲法上の問題・法的根拠への言及なし。

【F】 南シナ海情勢の多角的説明：省略

タイムスタンプ：00:01:36 — 引用：「南シナ海に面したフィリピン北部の海岸で実弾射撃訓練」 — 評価：中国・米国・フィリピンの立場の説明なし。

【G】 野党・市民社会の批判的見解：省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：自衛隊派遣への批判的視点が完全に欠如。

【H】 実弾射撃訓練の具体的内容：一部取り扱いあり

タイムスタンプ：00:01:38 — 引用：「実弾射撃訓練を行いました」 — 評価：事実の言及のみで内容・規模・目的の詳細なし。

【I】 近隣諸国の反応：省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：中国・韓国の反応への言及なし。

【J】 予備費活用の民主主義的問題点：省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：国会審議を経ない予備費活用の問題点への言及なし。

根拠：10の必要視点のうち、完全に扱われたものは1つ（【A】）、部分的取り扱いが1つ（【H】）、残る8つは省略されている。特に野党・批判的専門家・近隣諸国の視点が完全に欠如しており、放送法第4条が求める多角的論点提示の要件を著しく満たしていない。トランスクリプト後半（00:01:55以降）の字幕ループ異常により、バリカタン演習報道の詳細内容が確認不能であることも完全性評価を下げる要因である。

- ・ 野党（CDP・JCP・Reiwa）代表者：補正予算の必要性・予備費活用の問題点について対抗的見解を提供できた。
- ・ 財政経済専門家（独立系）：中東情勢が日本経済に与える具体的影響の数値的分析を提供できた。
- ・ 憲法学者：自衛隊のバリカタン演習参加の憲法9条との整合性について専門的見解を提供できた。
- ・ フィリピン・中国政府代表者：南シナ海情勢の多角的理解に必要な外交的文脈を提供できた。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



- 市民社会・平和団体代表者：自衛隊海外派遣・実弾訓練への批判的視点を提供できた。
- 刑事訴訟法専門家（弁護士・法学者）：再審制度改正案の内容・問題点について専門的説明を提供できた。
- エネルギー政策専門家：中東情勢と日本のエネルギー安全保障の関係を具体的に説明できた。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：高市早苗（内閣総理大臣）

タイムスタンプ：00:00:38

発言：「今年度予算の予備費も活用できるので政府として今日の時点で補正予算案の編成がすぐさま必要な状況とは考えていない」

位置づけ：当事者（政府の政策決定者）であり、独立した専門家ではない。財政政策・安全保障政策の当事者として明確な利益相反がある。

欠如している対抗意見：独立財政専門家、野党財政担当者、経済学者による補正予算必要性の評価。

情報源の深層確認：

- (a) 資金調達：内閣総理大臣として国家予算・政府資金により活動。LDP党費・政治資金も受領。
- (b) 権限：政策決定者としての権限は補正予算編成の是非に直接関係し、中立的評価と根本的に相容れない。
- (c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：
 - D1 利益相反：-2 — 補正予算不要論は政府の財政政策を正当化するものであり、首相として直接の利益相反がある。
 - D2 個人的リスク：-1 — 首相として政策判断の責任を負うが、発言内容は政府の既定方針と一致しており個人的リスクは低い。
 - D3 専門的能力：+1 — 政治家として財政政策の決定権限を持つが、独立した財政専門家ではない。
 - D4 意見の一貫性：+1 — 「重ねて示した」という表現から、以前から同様の立場を維持していることが確認できる。
 - D5 感情化対データ：-1 — 「国民の命と暮らし」という感情的表現を使用し、具体的数値・データの提示なし。
 - D6 情報源レベル：+2 — 政策決定者として一次情報源。
- 合計：0 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）
- (d) 首相の発言が「政府の公式見解」として中立的事実のように報道されているが、これは政治的立場の表明であり、独立した専門的評価ではない。技術12（情報源選定）の問題に該当する。

欠如している専門家グループ：

- 独立財政経済専門家（補正予算の必要性評価）
- 憲法学者（自衛隊海外派遣の法的評価）
- 野党代表者（対抗的政策立場）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

まとめ (マトリクス結果) :

- 高市早苗 (首相) : 情報源信号機黄色 (合計0) — 当事者として利益相反があり、独立した専門的評価として扱うことは不適切。独立専門家・野党の声が完全に欠如している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：高市早苗首相（政府公式見解）

タイムスタンプ：00:00:38 — 発言：「今年度予算の予備費も活用できるので政府として今日の時点で補正予算案の編成がすぐさま必要な状況とは考えていない」

- (a) 資金調達と運営主体：内閣総理大臣として国家予算により活動。LDP党費・政治資金も受領。
- (b) 構造的利益相反：補正予算不要論は政府の財政政策を正当化するものであり、首相として直接の利益相反がある。
- (c) 欠如している対抗情報源：独立財政専門家、野党財政担当者、経済学者による補正予算必要性の評価が完全に欠如している。

情報源2：NHK記者（事実報告）

タイムスタンプ：00:01:27～00:01:54 — 発言：「フィリピンとアメリカの合同演習は日本の自衛隊の部隊が今日南シナ海に面したフィリピン北部の海岸で実弾射撃訓練を行いました」

- (a) 資金調達：NHKは受信料・国家予算補助により運営。経営委員会委員は首相任命。
- (b) 構造的利益相反：NHKの経営委員会委員が首相任命であることから、政府に批判的な報道への構造的抑制が存在する可能性がある。
- (c) 欠如している対抗情報源：憲法学者、野党代表者、市民社会団体の見解が完全に欠如している。

まとめ：本放送の情報源は政府（首相）とNHK記者のみであり、独立専門家・野党・市民社会・近隣諸国という対抗的信息源が完全に欠如している。放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から著しく不十分である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 発言時間の配分

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 高市首相（直接引用・間接引用）：約45秒（全体の約75%）
- ナレーター（事実説明）：約15秒（全体の約25%）
- 野党・専門家・批判的見解：0秒（0%）
- 司会者：約5秒（全体の約8%）

まとめ：発言時間の100%が政府の立場（首相発言の直接・間接引用）とその事実的説明に割り当てられており、対抗的立場への発言時間は皆無である。放送法第4条が求める政治的公平の観点から著しく不均衡である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

8/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？（ステップ0を参照）

省略1：

文脈：野党・独立専門家による補正予算必要性の主張

関連タイムスタンプ：00:00:03～00:01:02

影響：補正予算不要という首相の立場のみが提示され、対抗的政策論争の存在が視聴者に伝わらない。予備費活用の規模・条件・民主主義的問題点（国会審議回避）も説明されていない。

省略2：

文脈：自衛隊バリカタン演習参加の憲法的・法的問題

関連タイムスタンプ：00:01:27～00:01:54

影響：「初めて本格的に参加」という歴史的転換が、憲法9条・集団的自衛権・海外派遣の法的根拠への言及なしに報道されており、視聴者は政策転換の重大性を評価できない。

省略3：

文脈：刑事訴訟法改正案の内容・背景・野党の立場

関連タイムスタンプ：00:01:08～00:01:23

影響：「最新裁判のやり直しの制度を見直す」という説明のみで、改正案の具体的内容・問題点・野党の立場が全く説明されておらず、視聴者は政策の実質を理解できない。

まとめ：本放送は政府の立場・行動のみを報道し、対抗的政策論争・憲法問題・野党の見解を体系的に省略している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の義務に反する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：00:01:51

数値：「およそ1400人の隊員を派遣し」

欠如している文脈：1400人という数字の意味（過去の派遣規模との比較、バリカタン演習全体の規模との比較、日本の自衛隊総兵力との比較）が提示されていない。

影響：1400人という数字が大きいのか小さいのか、視聴者は判断できない。「初めて本格的に参加」という表現と組み合わせることで、規模の重大性が強調される一方、比較的文脈が欠如している。

まとめ：本放送における数値使用は限定的であり、重大な数値操作は確認されなかった。ただし、1400人という数字の文脈的説明の欠如が、規模の評価を困難にしている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜（接触責任）

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的集団・思想との関連付けによる信用失墜。

所見1：

タイムスタンプ：00:01:36

引用：「南シナ海に面したフィリピン北部の海岸で実弾射撃訓練を行いました」

技術：南シナ海という地政学的に緊張した地域名を明示することで、演習の正当性を暗示的に強化している（中国の脅威との関連付け）。

影響：視聴者は南シナ海という文脈から中国の脅威を連想し、自衛隊参加の必要性を自然に受け入れやすくなる。

まとめ：本放送において明示的な連座による信用失墜の技術は確認されなかった。ただし、南シナ海という地名の使用が暗示的な脅威の関連付けとして機能している可能性がある。スコアは低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：00:00:03（冒頭）

内容：「中東情勢をめぐり高市総理大臣は今年度予算の予備費が活用できるとして現時点では補正予算案の編成が必要な状況ではないという認識を重ねて示した上で」

タイミング効果：放送冒頭に首相の「補正予算不要」という結論を提示することで、視聴者の認知的枠組みが最初から政府の立場に沿って設定される。後続の情報はこの枠組みの中で解釈されやすくなる。

所見2：

位置：00:00:54（中間）

内容：「国民の命と暮らしそれに経済活動に支障が及ばないよう適切に判断していく」

タイミング効果：首相の政策説明の締めくくりとして感情的に強い「国民の命と暮らし」という表現を配置することで、批判的検討を感情的に抑制する効果がある。

まとめ：放送冒頭に政府の結論を提示し、感情的に強い表現で締めくくるという構造が、視聴者の批判的評価を抑制する効果を持っている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場への憤慨はあるが、同等の他の立場への憤慨はない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に誘発事象を記録する。反応は、他の立場における同等の誘発事象が同様の反応を生じさせなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：該当なし

誘発事象：本放送において明示的な憤慨・感情的反応は確認されなかった。

反応：なし

比較：比較対象となる同等の誘発事象が存在しないため、非対称性の評価は不可能。

非対称性：確認不能。

まとめ：本放送において明示的な選択的憤慨は確認されなかった。ただし、政府の立場のみを報道し批判的見解を省略するという構造自体が、暗黙的な選択的支持として機能している可能性がある。スコアは低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:03

引用：「中東情勢をめぐり高市総理大臣は今年度予算の予備費が活用できるとして現時点では補正予算案の編成が必要な状況ではないという認識を重ねて示した上で」

操作：補正予算問題が「首相の判断の正当性」という枠組みで提示されており、「補正予算が必要かどうか」という政策論争としての枠組みが欠如している。

なぜ問題か：視聴者は補正予算不要という首相の立場を既定の事実として受け取りやすく、対抗的政策論争の存在を認識しにくくなる。

所見2：

タイムスタンプ：00:01:27

引用：「フィリピンとアメリカの合同演習は日本の自衛隊の部隊が今日南シナ海に面したフィリピン北部の海岸で実弾射撃訓練を行いました」

操作：自衛隊の海外実弾訓練が「日米比協力の自然な延長」として中立的事実として枠組みされており、安全保障政策の重大な転換点としての枠組みが欠如している。

なぜ問題か：「初めて本格的に参加」という歴史的意義が強調されながら、その政治的・憲法的含意への言及がなく、視聴者は政策転換の重大性を過小評価しやすい。

所見3：

タイムスタンプ：00:00:54

引用：「国民の命と暮らしそれに経済活動に支障が及ばないよう適切に判断していく」

操作：首相の発言が「国民の命と暮らし」という感情的に強い言葉で枠組みされており、批判的検討を困難にする道徳的枠組みが設定されている。

なぜ問題か：「国民の命と暮らし」という表現は反論を困難にする修辭的装置として機能し、補正予算不要論への批判的検討を感情的に抑制する効果がある。

まとめ：本放送は政府の政策判断を「適切な対応」として枠組みし、政策論争・憲法的問題・安全保障転換の重大性という対抗的枠組みを完全に排除している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:57

引用：「適切に判断していく」

操作：「適切」という形容詞は価値判断を含む言葉であり、首相の判断が正しいという含意を持つ。

なぜ問題か：中立的代替表現は「判断していく」または「対応を検討していく」であり、「適切」という評価的形容詞の使用は首相の立場を肯定的に枠組みする効果がある。

所見2：

タイムスタンプ：00:01:51

引用：「初めて本格的に参加しています」

操作：「本格的」という表現は積極的・肯定的な含意を持ち、自衛隊の海外軍事演習参加を前向きな発展として枠組みする。

なぜ問題か：中立的代替表現は「初めて参加しています」であり、「本格的」という修飾語は政策転換を肯定的に評価する含意を持つ。

所見3：

タイムスタンプ：00:00:52

引用：「注視しながら」

操作：「注視」という表現は政府が状況を把握・管理しているという安心感を与える言葉であり、政府の受動的対応を積極的管理として枠組みする。

なぜ問題か：「注視」は具体的行動を伴わない観察姿勢を示すが、この文脈では政府の積極的対応能力を示唆する言葉として機能している。

まとめ：「適切」「本格的」「注視」等の評価的・肯定的含意を持つ言葉が政府の立場を強化する方向で使用されており、中立的報道の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に誘発事象を記録する。介入は、他のゲストにおける同等の誘発事象が同様の介入を生じさせなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:00:30

誘発事象：記者団が首相に補正予算編成の必要性を質問した。

引用（司会者/ナレーター）：「記者団から中東情勢を受けて今年度の補正予算案を編成する必要性を問われたのに対し」

比較：野党代表者・独立専門家への同等の質問は放送内に存在しない。

非対称性：首相への質問内容は報告されているが、対抗的立場への質問・追及は放送されていない。ただし、これはニュース報道の構造的特性（首相会見の報告）によるものであり、司会者の個人的行動の非対称性とは区別される必要がある。

まとめ：本放送はスタジオ討論形式ではなく首相会見の報告形式であるため、司会者の直接的な介入・非対称性を評価することは困難である。ただし、首相の発言のみを報告し対抗的見解を求めない報道構造自体が、実質的な非対称性を生んでいる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性1：

高市首相への質問（00:00:30）：「今年度の補正予算案を編成する必要性を問われた」— 政策の必要性を問う標準的質問（中程度の硬さ）

野党代表者への質問：該当なし（放送内に野党への質問なし）

比較：首相には補正予算の必要性という政策的質問がなされているが、野党・専門家への対抗的質問は一切放送されていない。

非対称性2：

高市首相への質問（00:01:12）：「刑事訴訟法改正案の取扱いを質問された」— 法案の取り扱いという手続き的質問（軟らかい）

法案の内容・問題点・野党の立場への質問：該当なし

比較：法案の実質的内容・問題点・野党の立場への質問が完全に欠如しており、手続き的質問のみが報告されている。

まとめ：首相への質問は報告されているが、その内容は手続き的・確認的なものに留まり、批判的追及は見られない。野党・専門家への質問が完全に欠如しており、質問の非対称性は構造的である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見1：

タイムスタンプ：00:00:03～00:01:23

構造：「中東情勢への対応」「刑事訴訟法改正」「バリカタン演習」という三つの異なるトピックを連続して報道することで、多様な報道をしているという外観を作り出している。

分析：しかし、三つのトピックすべてにおいて政府の立場のみが提示されており、対抗的見解は皆無である。トピックの多様性が内容の均衡を代替しているという偽りの均衡が存在する。

まとめ：本放送において古典的な偽りの均衡（科学的コンセンサスと少数意見を同等に扱うなど）は確認されなかった。ただし、複数トピックの報道が内容的均衡の代替として機能している可能性がある。スコアは低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上がらないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：補正予算編成は「必要ない」という前提が自明のものとして設定されている。

タイムスタンプ：00:00:03 — 根拠：「現時点では補正予算案の編成が必要な状況ではないという認識を重ねて示した」

代替アジェンダ：補正予算の必要性・予備費活用の民主主義的問題点・野党の財政政策提案がアジェンダに上がるべきであった。

所見2：

設定されたアジェンダ要素：自衛隊のバリカタン演習参加が「自然な安全保障協力の発展」として自明のものとして設定されている。

タイムスタンプ：00:01:51 — 根拠：「初めて本格的に参加しています」という肯定的表現

代替アジェンダ：憲法9条との整合性・近隣諸国の反応・市民社会の批判・海外派遣の法的根拠がアジェンダに上がるべきであった。

所見3：

設定されたアジェンダ要素：刑事訴訟法改正案の「速やかな提出」が政府の当然の責務として自明のものとして設定されている。

タイムスタンプ：00:01:20 — 根拠：「できる限り速やかに法案を提出するよう準備を進めていく」

代替アジェンダ：改正案の内容・問題点・野党の立場・法曹界の意見がアジェンダに上がるべきであった。

まとめ：本放送は政府の政策判断を自明の前提として設定し、対抗的政策論争・憲法的問題・批判的見解をアジェンダから体系的に排除している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の義務に反する。

ステップ2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	6	政府の政策判断を「適切な対応」として枠組みし、政策論争・憲法的問題という対抗的枠組みを排除している。
2	言葉の選択	5	「適切」「本格的」「注視」等の評価的・肯定的含意を持つ言葉が政府の立場を強化する方向で使用されている。
3	専門家の選定	7	当事者（首相）のみが情報源として使用され、独立専門家・野党・批判的見解が完全に欠如している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4	省略	8	野党の立場・憲法問題・近隣諸国の反応・刑事訴訟法改正案の内容が体系的に省略されている。
5	司会者の行動	3	首相会見報告形式のため直接的非対称性の評価は困難だが、対抗的見解を求めない報道構造が実質的非対称性を生んでいる。
6	発言時間配分	7	発言時間の実質100%が政府の立場に割り当てられ、対抗的立場への発言時間は皆無である。
7	質問の非対称性	6	首相への質問は手続き的・確認的なものに留まり、野党・専門家への質問が完全に欠如している。
8	連座による信用失墜	1	明示的な連座による信用失墜は確認されなかったが、南シナ海という地名が暗黙的脅威の関連付けとして機能している可能性がある。
9	数値操作	4	1400人という数字の文脈的説明の欠如が規模の評価を困難にしているが、重大な数値操作は確認されなかった。
10	タイミング	5	放送冒頭に政府の結論を提示し感情的表現で締めくくるといった構造が視聴者の批判的評価を抑制している。
11	映像選択	3	トランスクリプトからの確認は限定的だが、実弾訓練映像が批判的文脈なしに提示された場合の政策正当化効果が懸念される。
12	情報源の選定	7	政府と記者のみが情報源であり、独立専門家・野党・市民社会・近隣諸国という対抗的情報源が完全に欠如している。
13	選択的憤慨	2	明示的な選択的憤慨は確認されなかったが、政府立場のみの報道という構造が暗黙的選択的支持として機能している。
14	偽りの均衡	2	古典的偽りの均衡は確認されなかったが、複数トピックの報道が内容的均衡の代替として機能している可能性がある。
15	アジェンダ設定	7	政府の政策判断を自明の前提として設定し、対抗的政策論争・憲法問題をアジェンダから体系的に排除している。

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：5.0 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：4.4 / 10（基準70%＋完全性30%： $5.0 \times 0.7 + 3.0 \times 0.3 = 3.5 + 0.9 = 4.4$ ）

支配的技術

本放送における最も強力な3つの技術：

- 省略（スコア8）：野党の立場・憲法問題・近隣諸国の反応・刑事訴訟法改正案の内容が体系的に省略されており、視聴者は政策の全体像を把握できない。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の義務に対する最も重大な違反である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung Association suisse pour une information équilibrée Associazione svizzera per un reporting equilibrato

2. 専門家・情報源の選定（スコア7）：当事者（首相）のみが情報源として使用され、独立専門家・野党・批判的見解が完全に欠如している。これにより政府の立場が唯一の「専門的見解」として提示される構造的偏りが生じている。
3. アジェンダ設定（スコア7）：政府の政策判断（補正予算不要・自衛隊派遣・法案提出）を自明の前提として設定し、対抗的政策論争・憲法の問題をアジェンダから体系的に排除している。視聴者は政策の正当性を問う視点を持ちにくくなる。

放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「高市政権は中東情勢・安全保障・司法改革において適切かつ積極的に対応している」

技術：フレーミング・言葉の選択・アジェンダ設定 — 根拠：00:00:03、00:00:57、00:01:51

メッセージ2（個人的）：「高市首相は国民の命と暮らしを守るために全力を尽くしている指導者である」

技術：感情的言語・選択的引用 — 根拠：00:00:54、00:00:58

メッセージ3（社会的）：「日本の安全保障強化（自衛隊海外派遣・日米比協力）は自然かつ必要な発展である」

技術：フレーミング・省略・アジェンダ設定 — 根拠：00:01:27、00:01:51

操作度の分類

- 均衡ある報道 (0-2)
- 軽度の傾向 (3-4)
- 明確な一方性 (5-6)
- 体系的偏り (7-8)
- 極端な偏り (9-10)

根拠：本放送は複合スコア4.4（総合スコア5.0）であり、「明確な一方性」の範疇に分類される。政府の立場のみを報道し対抗的見解を体系的に省略するという構造は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の要件を満たしていない。ただし、本放送は短時間のニュース速報形式であり、詳細な政策論争を展開することが構造的に困難であるという文脈も考慮する必要がある。トランスクリプト後半の字幕ループ異常により、バリカタン演習報道の詳細内容が確認不能であることも評価の限界として記録する。

総括

本放送は放送法第4条が求める政治的公平・多角的論点提示の観点から明確な問題を有している。高市首相の発言のみを情報源として使用し、補正予算の必要性・自衛隊海外派遣の憲法の問題・刑事訴訟法改正案の内容について野党・独立専門家・市民社会の見解を一切提示していない。「国民の命と暮らし」「適切に判断」「初めて本格的に参加」等の評価的言語が政府の立場を肯定的に枠組みしており、中立的報道の基準を満たしていない。放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（できる限り多くの角度から論点を明らかにすること）との整合性について、NHKは説明責任を負う。ただし、本分析はトランスクリプトの後半部分（00:01:55以降）に字幕ループ異常が存在するため、バリカタン演習報道の完全な評価には限界があることを付記する。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア (-5~+5)	放送内容対党綱領
自由民主党 (LDP)	+2	00:00:38 「今年度予算の予備費も活用できるので...補正予算案の編成がすぐさま必要な状況とは考えていない」 — 党綱領：財政規律・成長戦略 — 首相の財政判断が批判

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



		なく報道されており、LDPの政策立場が肯定的に提示されている。ただし党綱領の詳細な説明はなし。
立憲民主党 (CDP)	-3	該当タイムスタンプなし — 党綱領：補正予算積極活用・分配重視・護憲 — CDPの補正予算必要論・憲法9条に基づく自衛隊海外派遣への批判的立場が完全に省略されており、党綱領が歪曲・省略されている。
公明党 (Komeito)	0	該当タイムスタンプなし — 党綱領：平和外交・社会保障 — 放送内に言及なし。
日本維新の会 (Ishin)	0	該当タイムスタンプなし — 党綱領：行政改革・改憲 — 放送内に言及なし。
日本共産党 (JCP)	-3	該当タイムスタンプなし — 党綱領：護憲・即時原発廃止・米日安保廃棄・反軍拡 — JCPの自衛隊海外派遣反対・補正予算必要論が完全に省略されており、党綱領が省略されている。
国民民主党 (DPP)	0	該当タイムスタンプなし — 党綱領：消費税5%・実用的原発活用 — 放送内に言及なし。

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：自由民主党 (LDP)、スコア+2
- 最も強い歪曲：立憲民主党 (CDP)・日本共産党 (JCP)、スコア-3 (同率)
- 0からの平均偏差：1.3
- 総括：本放送はLDPの政策立場 (補正予算不要・自衛隊海外派遣・法案提出) を批判なく報道する一方、CDPの補正予算必要論・JCPの自衛隊海外派遣反対論を完全に省略している。これはLDPに有利、野党 (特にCDP・JCP) に不利な構造的偏りを示している。00:00:38の首相発言報告と00:01:51の自衛隊参加報告が、野党の対抗的立場への言及なしに提示されていることが主要な根拠である。

左右スペクトル全体傾向

傾向スコア：-1.5

(正=左派優遇、負=右派優遇、0.0=均衡)

分類：右派優遇

根拠：本放送は防衛費増額・自衛隊海外派遣・財政規律という右派 (LDP・Ishin) の政策立場を自明の前提として報道し、護憲・補正予算積極活用・自衛隊海外派遣反対という左派 (CDP・JCP・Reiwa) の政策立場を完全に省略している。フレーミング・アジェンダ設定・情報源選定のすべてにおいて右派政策を支持する方向性が確認される。ただし、スコアが-1.5 (強い右派優遇ではなく中程度) である理由は、本放送が短時間のニュース速報形式であり、政策論争の詳細な展開が構造的に困難であるという文脈を考慮したためである。

ステップ4 — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の提示（第4号）を放送事業者に義務付けている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：補正予算編成の必要性・自衛隊海外派遣・刑事訴訟法改正案という政治的に争点となっている事項について、与党（LDP）の立場のみを報道し、野党（CDP・JCP・Reiwa等）の対抗的立場を一切提示しなかった。

根拠：タイムスタンプ00:00:38 — 引用：「政府として今日の時点で補正予算案の編成がすぐさま必要な状況とは考えていない」（野党の補正予算必要論への言及なし）

評価：政治的に争点となっている財政政策・安全保障政策について一方の立場のみを報道することは、放送法第4条第2号が求める政治的公平の要件を満たさない。

違反2：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点提示）

事実：自衛隊のバリカタン演習初本格参加という安全保障政策の重大な転換について、憲法学者・野党・市民社会・近隣諸国の見解を一切提示せず、政府の立場のみを報道した。

根拠：タイムスタンプ00:01:51 — 引用：「初めて本格的に参加しています」（憲法問題・批判的見解への言及なし）

評価：安全保障政策の重大な転換について多角的論点を提示しないことは、放送法第4条第4号が求める「できる限り多くの角度から論点を明らかにすること」の義務に反する。

違反3：

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

事実：刑事訴訟法改正案について「最新裁判のやり直しの制度を見直すための」という説明のみで、改正案の具体的内容・問題点・背景を説明しなかった。

根拠：タイムスタンプ00:01:08 — 引用：「最新裁判のやり直しの制度を見直すための刑事訴訟法改正案の取扱いを質問されたのに対しては」

評価：法案の内容を正確に説明せず手続き的側面のみを報道することは、視聴者が政策を正確に理解するために必要な情報を提供するという報道の正確性の要件を部分的に満たしていない。

放送法第4条総合評価

本放送は放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）について明確な問題を有している。政府（LDP）の政策立場のみを報道し、野党・独立専門家・市民社会の対抗的見解を体系的に省略するという報道構造は、放送法が公共放送に求める政治的公平・多角的論点提示の義務と整合しない。ただし、本放送は短時間のニュース速報形式であり、すべての論点を詳細に展開することが構造的に困難であるという文脈も存在する。NHKは本報道について、放送法第4条の要件を満たすための補完的報道（野党の見解・専門家の分析・多角的論点の提示）を別途行う義務を負う。トランスクリプト後半の字幕ループ異常（00:01:55～04:55:480）により、バリカタン演習報道の完全な内容確認が不可能であったことを法的評価の限界として記録する。

情報源深層確認（義務的確認：引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関）

高市早苗首相（内閣総理大臣）

- 資金調達：内閣総理大臣として国家予算により活動。LDP党費・政治資金（政治資金収支報告書に記載）も受領。国家予算の配分権限を持つ。
- 権限：政策決定者としての権限は補正予算編成の是非・自衛隊派遣・法案提出に直接関係し、中立的評価と根本的に相容れない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

3. 利益相反：補正予算不要論・自衛隊派遣肯定・法案速やかな提出はすべてLDP政権の政策を正当化するものであり、首相として直接の利益相反がある。

4. 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：

D1 利益相反：-2 — 政策決定者として直接の利益相反

D2 個人的リスク：-1 — 政府の既定方針と一致しており個人的リスクは低い

D3 専門的能力：+1 — 政治家として政策決定権限を持つが独立専門家ではない

D4 意見の一貫性：+1 — 「重ねて示した」から一貫性が確認できる

D5 感情化対データ：-1 — 「国民の命と暮らし」という感情的表現、具体的データなし

D6 情報源レベル：+2 — 政策決定者として一次情報源

• 合計：0 → 情報源信号機：黄色

5. 対抗的見解：独立財政専門家・野党財政担当者・憲法学者による対抗的評価が引用されていない。

重要：「首相の発言」は政治的立場の表明であり、独立した専門的評価ではない。NHKがこれを唯一の情報源として使用することは、放送法第4条が求める多角的論点提示の義務と整合しない。「政府の公式見解」という社会的権威付けは、それ自体が検証されるべき枠組みであり、中立的事実として扱うことはできない。

本分析はNHKニュース（推定2025年）のトランスクリプトに基づき、放送法第4条準拠の観点から作成された。
トランスクリプト後半（00:01:55～04:55:480）の字幕ループ異常により、バリカタン演習報道の完全な内容確認が不可能であったことを付記する。分析バージョン：2.7-detail。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	7/10	著しい偏り
2	情報源の選定	7/10	著しい偏り
3	発言時間の配分	7/10	著しい偏り
4	省略（選択的省略）	8/10	著しい偏り
5	数値操作	4/10	軽微な偏り
6	連座による信用失墜（接触責任）	1/10	問題なし
7	タイミング	5/10	顕著な偏り
8	選択的憤慨	2/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	6/10	顕著な偏り
11	言葉の選択と用語	5/10	顕著な偏り
12	司会者の行動	3/10	軽微な偏り
13	質問の非対称性	6/10	顕著な偏り
14	偽りの均衡	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	7/10	著しい偏り

ハードファクトスコア (1-8)

5.1/10

顕著な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

4.8/10

顕著な不均衡

総合スコア

5.0/10

顕著な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1